



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3 4 5 8
議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 117 号



佐久間ダム湖の夜桜

< 3 月定例議会 >

は
や
わ
か
り

議案・補正予算 8 事業を 28 年度へ繰越	2~3 ページ
一般質問 緒方・田久保・青木・小藤田・三国・渡邊の 6 議員	4~7 ページ
予算審査特別委員会 一般会計当初予算 38 億 7000 万円	8~9 ページ
議会活動トピックス 広域ゴミ処理施設問題で全協開催	10 ページ

3月議会

いっそう安心・安全な海水浴場へ 迷惑行為を禁止事項として条例化

3月定例議会は、会期を3月2日から11日の10日間として開催した。町長提出議案は、過疎地域自立促進計画の策定1件、条例関係10件、指定管理者の指定2件、町道の路線変更等の認定1件、農業委員会委員の任命に係る認定農業者数について1件、工事請負契約の締結について1件、平成27年度補正予算6件、平成28年度当初予算6件の合計28議案。議員提出議案については、報酬年額の特例に関する条例の一部改正の議案が提出され、上程された全議案を可決した。一般質問は、緒方・田久保・青木・小藤田・三国・渡邊の6議員が質問席に立った。

役場組織を見直し

建設水道課の設置

町の観光振興の発展に寄与することを目的とした安心・安全な鋸南町海水浴場の確保に関する条例の制定について、全員賛成で可決した。

近年の海水浴場の利用において、ゴミの放置や飲酒等マナーの悪化が目立つようになってきており、制定された条例では海水浴場の美化及び環境の保全のため、様々な禁止行為についても定めている。

平成17年の役場組織機構の改革から10年が経過し、現状に即して各課の分掌事務を調整するため、課の設置条例など関係条例の一部改正を全員一致で可決した。

主な改正点は、水道課の名称を「建設水道課」に改めて、現在地域振興課の分掌事務から土木・道路及び河川・住宅及び建築・環境保全及び公害防止、地籍調査について、建設水道課に所管替えるもの。

また、現在総務企画課の分掌事務である監査事務局については、議会事務局職員を充てることとなった。

条例制定について

の主な質疑

質問 今、力を入れて取り組んでいる道の駅保田小学校の分掌事務は、総務企画課から地域振興課へ所管が移るが、引き継ぎなどにおいて問題はないか。

副町長 スムーズな引き継ぎが行われるよう、職員配置等を考慮していきたいと思えます。

質疑 安心安全な鋸南町の海水浴場の確保に関する条

例に禁止行為が規定されているが、違反行為に対する注意は誰が行うのか。

地域振興課長 各海水浴場の監視をしながら巡回する方を依頼する予定です。

質問 海水浴場でバーベキューをしている方を多く見かけるが、それらの調理器具の使用が禁止になるという理解でよいか。

地域振興課長 条例の規定により、コンロ等を使つてのバーベキューについては規制をすることになります。

質問 禁止行為の周知はどのように行うのか。

地域振興課長 海岸へ看板を設置して対応します。

議員町三役・管理職の 人件費削減を継続

議員発議案として、議員報酬の5%削減を1年延長する条例改正案を上程し、全員賛成で可決した。

また、町三役の給料削減及び管理職の給料削減についても1年延長されることとなった。



建設水道課に名称を変更

最終補正予算可決 8事業を28年度へ繰り越し

3月の一般会計補正予算は、6590万9千円を減額し、補正後の総額を41億3231万7千円とし、賛成多数で可決した。

今補正予算では、国の補正予算で決定した「年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業」、「自治体情報セキュリティ強化対策事業」、「さまざまな交通手段の連携による県内観光地へのア

クセス強化・観光プロモーション事業」。また、この3事業の他「河川災害復旧事業」など5事業を加えた8事業、1億5280万3千円を平成28年度へ繰り越す見込み。

また、国民健康保険特別会計予算など各特別会計及び企業会計についても最終補正予算が上程され、それぞれ全員賛成で可決した。



災害直後の河川（小保田地区）

年金生活者等へ支援 臨時福祉給付金を支給

本事業は、社会保障・税一体改革の一環として、低所得の高齢者を対象に実施されるもの。

平成27年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる方を対象に、一人3万円が支給される。

28年度に繰り越して、6月から支給される予定となっている。

補正予算の 主な質疑

質問 豊かなまちづくり寄付金は当初の1700万円の予算から616万3千円の減額が計上されているが詳しい説明を。

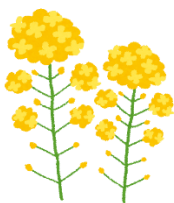
総務企画課長 ふるさと納税ですが、12月末で707件、約881万円でした。決算を見込んでの予算減額となりました。

質問 返礼品等の歳出は減額していない理由は。

副町長 歳出予算については、返礼品の額が確定していないため、予算の減額はしていません。

質問 国保会計補正予算で、27年度末の基金残高はいくらになるか。

副町長 4972万388円を予定しています。



補正予算の概要

会計名	補正額 (補正後総額)	主な内容
一般会計	▲6,590万9千円 (41億3,231万7千円)	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ強化対策事業経費の増 年金生活者等臨時福祉給付金給付事業費の増 豊かなまちづくり寄付金の減 各事業費及び工事費確定による減
国民健康保険特別会計	2,428万円 (14億9,396万円)	<ul style="list-style-type: none"> 保険給付費の増 財政調整基金繰入金の増

ここが聞きたい いっぱん質問

人口減に伴う買い物弱者対策

空き家の環境管理を



緒方 猛議員

質問 昨年10月の国勢調査で鋸南の人口は8024人

減少率は5年前の▲10.35%と県下最大で、昭和25年の1万6500人以来65年一貫して減少している。最大の問題は、人口減の一方で雇用創出の手が打てなかったことだ。行政は自治体経営の政策上の反省をどのように総括しているのか

町長 人口の減少は税収の落ち込み、購買力の低下など地域経済に及ぼす影響は大きく大変憂慮すべき結果と、真摯に受け止めています。交流人口の増加に定住化が直結しないとの懸念も

ありますが、今後も若年層の流出を止めるため、重点施策として、商工・観光業の振興に引き続き取り組みます。また、空き家バンク事業、雇用創出、住環境の整備について早急な対応が必要と感じています。

質問 高齢化とともに買い物弱者が増えている。軽トラックで販売に回る移動スーパー等の必要性を感じるが。

町長 町商工会を中心として、希望商品を家庭に届ける宅配の充実を対策として進め、消費者の利便性の向上を検討したいと考えます。また、町内で配達可能な事業者の情報は、町の電話帳に「鋸南町買い物お助け帳」として記載されています。

質問 空き家管理の状況は

悪く、周囲は大変困っている。昨年国で「空き家対策特別措置法」が成立し、近隣市ではこれに基づき処理を始めている。町でも早く進めるべきと思うが。

町長 町内の空き家は約730軒、過去7年間で36件の苦情があり、9件が解決しています。町民の生活環境保全のため、特別措置法に基づく措置を進めたいと考えます。

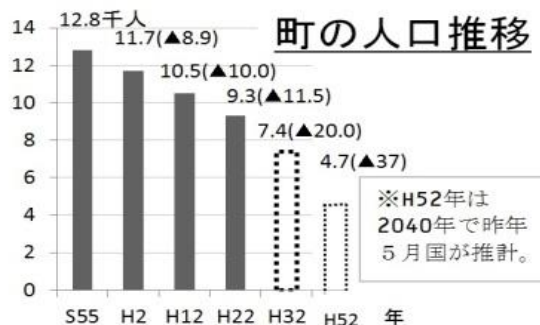
人口減少に

どう歯止めをかけるか



田久保 浩通議員

質問 県は2月3日、国勢調査速報値を発表した。過



疎化が進む4市町。鋸南町の減少率が県下で唯一2桁。鋸南町だけが3市に比べ突出しているが、町長はこの結果をどう分析しているのか。

町長 平成22年調査との比較で人口926人の減、減

少率10・35%と県下では最も高い減少率となりました。出生・死亡の自然増減にあまり変化がない一方で、社会増減における転出者数は過去5年間で38%増加しております。転入者が横ばいの状況にあつて、転出者数が増加して人口減少に拍車をかけたものと判断しています。

質問 転出者の増加が大きな原因であること。また、若い層の転出が多いことがわかっていきます。雇用の問題、住環境の問題など、複合的な問題から、人口流出を防ぐことはなかなか難しいと思うが、何か具体的な対策を検討しているか。

副町長 とても難しい問題だと思っております。アンケート等分析してみますと、やはり雇用の場が町内には少ないということ。また、基幹産業の農業・漁業等の後継者不足の問題も見受けられます。そのような中で、町の総合戦略・総合計画に基づきまして、都市交流施設を一つの拠点とし

て、事業を展開していくことだと思えます。例えば、地方創生事業等の、体験メニューを通して、鋸南町に関心を持ってもらい、将来移住・定住につながるばと考えています。また、健康事業につきましても、健康で長生きできるように、十分に力を入れて取り組んでいきます。これらの施策について、将来的に人口増につながっていくるように努力してまいります。

平成27年度国勢調査人口(県速報値)

	人口数(人)	前回(平成22年)比(人)
館山市	47,488	1,802 減
鴨川市	33,954	1,812 減
南房総市	39,044	3,060 減
鋸南町	8,024	926 減
安房地域	128,510	7,600 減

地方創生のカギを握る

鋸南教育の推進を



青木 悦子議員

質問 27年度の鋸南教育についての成果や課題について伺う。

教育長 学校教育関係では、小学校プールの改修や電子黒板の導入など施設設備の

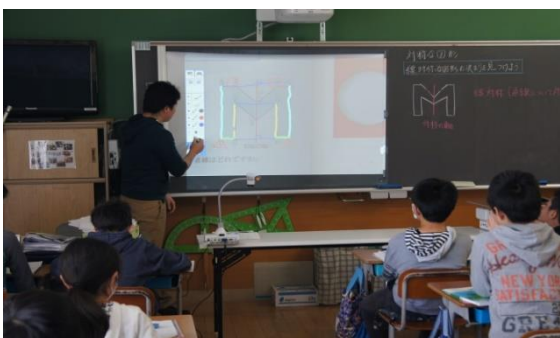
充実を努めてきました。また、道徳教育の充実や体力の向上については、優れた評価を受けています。社会教育関係は、「浮世絵ジャポニズム」展において西洋絵画に影響を与えた浮世絵の原点が菱川師宣であることから、町の誇りであることを町内外にアピールできたのではないかと思います。今後は、学童保育所・幼稚園の移転に伴う幼保一体化や認定子ども園化に向けて十分な検討、準備をしていくことが大切な課題だと認識しています。

質問 特色ある鋸南教育の取り組みについて伺う。

教育長 鋸南町においては、特に幼稚園からの英語教育、中学校での放課後学習支援、小中教職員の研修の充実などが特色と考えます。また、子ども一人ひとりに対する手厚い教育や「鋸南町だからこそできる教育」を町の実情に即した「鋸南町教育」の創生という観点で今後も取り組んでいきます。

質問 「ふるさとへの愛着を育む生涯学習の推進」について具体的な構想を伺う。

教育長 「総合的な学習の時間」の中で、全校挙げて取り組んでいます。地域学習の副読本「鋸南町の歴史」をさらに充実させ、鋸南町への愛着や郷土愛を育み、将来的なUターン意識の醸成に繋がればと思っております。社会教育・生涯学習活動については、さらに充実させていく考えです。



電子黒板を使った授業風景

低所得と人口減少

—その解決策として



小藤田 一幸議員

質問 最近の統計によると、町民1人当たりの平均所得は県下54市町村の中で下から2番目。人口減少率は県下1位で、この5年間で佐久間地区と同程度の人口が減少している。今後、人口流出と、収益増加を目指した農業や観光業に対する政策を実践すべきと考える。そこで、隣の道の駅では、枇杷狩り・ミカン狩り・ブルーベリー摘み・太巻き作りなどいろいろ企画し、地域の農業・観光に多大な貢献をしているが、道の駅「保田小学校」では誰がやるのか。

総務企画課長 指定管理者である共立メンテナンスの職員2名で行います。

質問 隣の道の駅では会社組織を立ち上げ、地元の間が3〜4名常駐している。いろいろな体験メニューについて、地域の方々が企画・実践していると伺っているが、地域を知らない指定管理者の職員だけではできないのか。

総務企画課長 共立メンテナンス主催の会議が月1回、町主催が年4回あるので、農業体験メニューの構築を協議したいと考えます。

質問 町の農業は高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加等の問題が深刻化している。そんな中、新規就農者3名の存在は明るい希望である。耕作機械や農業資材もない彼らに町として少

しでも援助ができないか。
地域振興課長 現在、支援内容について前向きに検討を行っています。

質問 佐久間ダム公園の桜がきれいに咲いているが使われている費用に比べて収入が低い。軽トラック等を利用して無料休憩所近くに売店ができないか。

地域振興課長 地域の方々が経済活動を行える場所の整備を現在検討中です。



新規就農者パッションフルーツ栽培

する対応についての検討はどうか。

町長 要支援者向けのサービスを利用して通所介護・訪問介護の利用者の不利益とならないよう、現在利用している介護保険のホームヘルプサービス事業所やデイサービス事業所に委託する予定で考えています。移行にあたり、町における準備だけではなく、社会福祉協議会や介護事業者、介護関係者等に対しても、支障なく事業が移行できるよう、事業についての説明会等を開催し、事業移行への協議を進めているところで

要支援1・2 市町村への事業移行 利用者に不便や困ることのないように



三国 幸次議員

質問 要支援1・2の介護保険から市町村の「新総合

事業」への移行は介護給付

費の削減がねらいで、自治体の事業への移行により、先行実施の自治体で様々な問題が出ている。鋸南町では1年前倒しして、28年度に移行することだが、対象者、そして事業所に対

す。
質問 移行のための条例や事業計画、あるいは具体的なスケジュールなどはどうか。

保健福祉課長 この3月議会で、介護保険特別会計補正予算の保険給付費から地域支援事業への予算の組み替えをお願いしているところです。補正予算の議決をいただいた後、規則で移行

日を定める予定となっております。具体的なスケジュールにつきましては、要支援者の方々の介護認定期間が個々に違うことから、更新や既に認定された方から随時、新しい総合事業の方へ移行していただこうと考えています。

要望 利用者に不便や困ることのないように、綿密な配慮をした実施をしてほしい。

総合戦略交付金活用による

佐久間ダム公園を日本一に



渡邊 信廣議員

質問 町は国の地方創生に基づき、少子高齢化や過疎化の取り組みとして2060年には2776人まで人口が減少する推計から5000人を目標とする人口ピ



地域介護予防活動(すこやか)

ジョンや総合戦略等計画策定を行っている。観光資源の多い当町においては資源に付加価値をつけることが重要であり、日本一を合言葉に植栽した桜も十数年を経過し、特に佐久間ダムは観光拠点になりつつある。町を活性化させる上でも一大拠点にすることが急務であり、総合戦略交付金の活用が重要だと思うが、今後の取り組みについて伺う。

町長 拠点の整備や景観を活かしながら、色彩を考慮した植栽を地域の方々と協議しながら進めたいと考えます。また、事業の実施については有利な補助事業を模索し整備を行います。

質問 過疎計画の中に28年から32年まで花いっぱい事業が各年度1千万円計画されているが実施箇所はどこか。

地域振興課長 エコガーデン構想に基づき、いたるところに花を植え維持管理と新たな植栽を合わせた計画となっております。

質問 いろんな所に花を植えるとのことだが、先ずは拠点を造り、経済効果を上げるのが第一だと思う。そのためには、植栽の無い箇所地元理解をいだける佐久間ダム南側の植栽を進めるとともに、専門家により計画されたグラウンドデザインが重要だと思うが。

町長 現在花木の育成管理の指導をいただいている日本花の会や関連団体等と協議し、有識者の意見を伺うことも検討したいと考えます。



桜まつりで賑わう佐久間ダム

〈全協報告〉

ごみ処理予定地断念へ

3月16日、議員全員協議会を開催。昨年末に「入会地」であることが判明し、用地買収が困難となっている南房総市大貫地区の広域ごみ処理施設の建設計画予定地について、建設計画を断念する方針が、安房郡市広域市町村圏事務組合から説明された。

主な質疑

質問 用地の断念は2度目となる。今後は慎重に進めてもらいたい。

広域事務局次長 今後は弁護士を入れて、慎重に進めていきたいと思えます。

質問 住民との話し合いも大事なので、住民説明会を開いてほしい。
広域事務局次長 今回の計画でも2回住民説明を行いました。今後必要に応じて説明会開催を考えていきます。

特別委員会

学童保育所を整備

子育て環境の充実及び幼保一体化に向けた取り組みへ

平成28年度の当初予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（鈴木辰也委員長）を設置し、審査を行い、すべての予算を全員賛成で可決すべきものと決定した。一般会計については、歳入総額は38億7091万4千円で前年度比3・3%、1億3350万4千円の減となった。

新年度で予定している主な事業は、農山漁村地域整備交付金事業（勝山漁港）1250万円、水産物供給基盤機能保全事業（保田漁港）700万円、都市交流施設整備事業6396万4千円、道路長寿命化修繕事業（天寧寺大橋補修工事他）7421万円、防災行政無線改修事業800万4千円、学童保育所建設事業6144万8千円、スクールバス購入事業1458万円、幼稚園改築事業（工事設計委託）2362万円など。

ふるさと納税

新たな返礼品の開発を

一般会計予算の

主な質疑

総務企画課関係

質問 行財政改革の取り組みは。

総務企画課長 特別職及び管理職の人件費削減や町債の借り換え等による、行財政改革の効果は1090万8千円です。

質問 空撮用ドローンの購入目的は。

企画財政室長 水仙や桜の開花状況の動画撮影や、災害時の状況確認等の他、様々な活用があります。



リニューアルされた笑楽の湯

質問 戸別受信機60台の配布先は。

総務管理室長 土砂災害警戒区域への優先的な配布です。

質問 別荘など住民以外の方から戸別受信機の要望を聞くが対応は可能か。

副町長 財政的な負担もありますので、公費での配布は難しいですが、今後検討していきます。

税務住民課関係

質問 町たばこ税6111万円の歳入予算額は少なくはないか。

税務収納室長 健康志向の高まりや、旧3級品たばこの値上げによる消費本数の減を考慮しています。

保健福祉課関係

質問 老人福祉センターの温泉化による利用者の増加はどうか。

健康推進室長 温泉化以前は年間約9千人の利用者で

予算審査

一般会計対前年度比 3.3%の減額

当初予算 38億7092万円

＜平成28年度当初予算＞

一般会計	38億7,091万4千円
国民健康保険特別会計	14億5,554万9千円
後期高齢者医療特別会計	1億2,311万1千円
介護保険特別会計	11億6,429万8千円

したが、27年度では約1万8千人の利用者を見込んでいます。この内3800人程は自衛隊員の利用によるものです。

地域振興課関係

質問 区長からの町道や排水等の補修要望の取り組み状況は。

地域振興課長 27年度では9カ所の補修や原材料支給を行いました。年度末で73カ所が未実施となっています。

質問 結婚相談事業の活動内容はどうか。

地域整備室長 毎月結婚相談を実施しているほか、婚活実行委員会を設けて、4回の婚活イベントを実施しました。

質問 空き家バンクの稼働状況は。

地域振興課長 2月1日から稼働し、現在は1件の空き家情報が登録されています。

質問 環境監視員による監視の成果はどうか。

まちづくり推進室長 27年度では旧採石場への無断侵入2件と不法投棄1件を確認し、県などへ通報を行いました。

要望 国の青年就農給付金が計上されているが、町独自の支援も最大限行ってほしい。

教育課関係

質問 菱川師宣記念館特別展のPR活動の内容は。

生涯学習室長 高速道路のサーブিসエリアや千葉、東京、神奈川方面の観光・宿泊施設、東京湾フェリー・JR等にポスター等を配布して広報に力を入れます。

質問 28年度で採用する社会教育主事の役割は。

教育課長 公民館事業をはじめとする、社会教育全般を担当していただきます。

質問 中央公民館の調理室を活用する予定はどうか。

教育課長 多目的な活用を考えています。もう少し検討する期間をいただきたいと思えます。

質問 教育関係だけに限らないが、施設の光熱費について、支出を抑えるような検討をしているのか。

総務管理室長 4月1日から電気の自由化が始まりますので、他市の状況を参考に、入札方式による事業者との契約を行います。

特別会計予算の主な質疑

介護保険特別会計関係

質問 要支援1・2の訪問介護と通所介護が地域支援事業へ移行するが、予算上のメリットはあるか。

保健福祉課長 事業の移行により総合事業調整交付金の交付対象となります。今後交付金額が決定しましたら、補正予算で対応します。

水道事業会計関係

質問 配水管布設替工事後の石綿セメント管の残は。

水道副課長 当該工事により775メートルを改良するので、残延長は12キロ575メートルとなる予定です。

議会活動トピックス

世界初のゼロエミッション製紙工場を視察



2月18日、鋸南地区環境衛生組合議会が川崎市の製紙工場等を視察し、最先端のリサイクル技術や再生可能エネルギーについて研修をした。

議場にて表彰状を伝達



3月2日、鋸南町表彰式が議場にて举行され、功労表彰及び善行表彰受賞者それぞれに表彰状が伝達された。

ごみ処理施設建設の今後は



3月16日、議員全員協議会を開催し、広域ごみ処理施設の建設計画について、説明を受けた。(7ページに関連記事)

地域活性化講演会を開催



3月14日、中央公民館講座室にて、ふるさと納税の魅力あるお礼の品づくりや宣伝方法、地域の活性化について講演が行われた。

議会の日誌

2月17日 議員全員協議会及び議員総会
 2月24日 議会運営委員会
 3月2日～11日
 平成28年第1回議会定例会

3月4日 予算審査特別委員会
 3月16日 議員全員協議会
 4月8日 議会広報特別委員会

編集後記

国勢調査の速報値が発表され、千葉県下において鋸南町の人口の減少率が一位となったことは、3月定例議会でも多くの議員が質問として取り上げました。

今後は、どうしたら鋸南町の人口減少を食い止めることができるかを「将来を担う子ども達」と共に考えることが重要です。家族で話題にするのも日本の将来を託す子ども達のより良い成長を促すことにつながるのではと考えます。大人には思いもよらない斬新なアイデアを出してくれるかもしれませぬ。小・中学生から、鋸南町の住民としての課題意識を持って成長してもらえることが将来の大きな力につながると思います。私も、地域活性化の近道である「人づくり」の推進に向け、地域の皆様と共に取り組んでいきたいと思えます。

青木